

京都ALS患者囑託殺人事件（2026）

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 2026/10/31

公開情報 東風

映倫 G

【キャッチコピー】

死の直前まで続いた二人のやり取り。
なぜ一線を越えたのか？

【解説】

2019年11月30日、ALS（筋萎縮性側索硬化症）を患う林優里さんから殺害を依頼された2人の医師が、京都市内の彼女の自宅で薬物を投与し“安楽死”を実行した。2020年7月、2人の医師、大久保愉一と山本直樹は囑託殺人容疑で逮捕される。この事件は日本中に衝撃を与え、マスコミで大きく取り上げられた。本作は、「マミー」の二村真弘監督が、安楽死を望んだ林優里さんの人生を深く掘り下げていくとともに、主犯の大久保愉一の半生をも辿りつつ、明かされる未公開のDMを通して、死の直前まで続いた2人のやり取りから、センセーショナルな報道では伺い知れないそれぞれの思いに迫り、生と死、法や規範を巡る複雑な問いを観るものに投げかけていくドキュメンタリー。

【クレジット】

監督	二村真弘
プロデューサー	石川朋子
撮影	松村敏行
	佐藤洋祐
音響効果	増子彰
照明	尾山隆之
整音	富永憲一
オンライン編集	織山臨太郎
カラーグレーディング	織山臨太郎
声の出演	田畑智子